



	7日(日)	14日(日)	20日(土)	21日(日)	28日(日)
外科	小林記念病院 (新川町) ☎(41)0004 9時~12時、 13時~17時	加藤病院 (松本町) ☎(41)6211 9時~12時、 15時~17時	いくた整形外科 (中山町) ☎(48)5655 9時~12時、 14時~17時	堀尾医院 (新川町) ☎(48)0633 9時~17時	作塚杉浦 クリニック (作塚町) ☎(42)5327 9時~12時、 13時~17時
内科	休日診療所 (保健センター) ☎(48)4141 9時~12時、13時30分~17時				
歯科	休日歯科診療所 (前浜町 4-22) ☎(46)3700 9時~12時				
その他	眼科 田中眼科 (伏見町) ☎(43)5331 9時~12時、 13時30分~17時	耳鼻咽喉科 しんかわ耳鼻咽喉科 クリニック (久沓町) ☎(42)8733 9時~12時、 13時30分~17時			産婦人科 岡村産科婦人科 (沢渡町) ☎(41)2726 9時~12時、 12時45分~17時

- ・17時以降の夜間に、急病でお困りのときの病院案内は救急医療情報センター ☎(36)1133
- ・休日在宅医の変更がある場合もあります。お出かけの前に医療機関へ問い合わせてください。



きてみて図書館

今月の  
3冊



問

図書館本館 ☎(41)0894  
中部分館 ☎(41)1980  
南部分館 ☎(42)8211

ブラックウェル  
に撞れて

南 杏子 / 著  
光文社



医療現場で働く4人の女性医師の物語。4人の出会いは、医大の解剖学実習で同じ班だったこと。異例ともいえる女性だけの班だったが、城之内教授の指導を経て、優秀な成績で卒業した彼女たちは医師になり、今もお互いの近況を伝え合うなど交流が続いている。真摯に医療の道を歩む彼女たちだが、夫婦の問題、親の介護、高いオペ技術を持つのに出世ができないなど、それぞれが医療現場や家庭などの問題に直面していた。彼女たちは問題とどう闘って乗り越えていくのか…。

作品タイトルにある「ブラックウェル」は、19世紀に女性で初めて医師の資格を得たエリザベス・ブラックウェル。彼女も女性というだけで勉強の機会をなかなか与えられなかったとか。著者自身も医師であり、医療現場の現実もリアルに描かれている小説。

生物と無生物  
のあいだ

福岡 伸一 / 著  
講談社



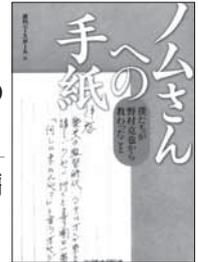
「生きている」とはどういうことか？人間ならだれしも一度は考える永遠のテーマなのではないでしょうか。本書では、DNAや原子、分子、たんぱく質、細胞の成り立ちなどの分子生物学の研究の歴史を追いながら、最後には著者自身の研究をもって、生命とは何かを明らかにし、「生物と無生物のあいだ」にせまります。

ノンフィクションの作品ですが、歴史の闇に沈んだ科学者たちにスポットを当て真相を突き詰めていく様子は、まるで小説のよう。また、研究者の様子や苦労が垣間見えるエッセイとしても読むことができます。

理系の本はちょっと…と抵抗を感じる人も、楽しめる一冊。はじめは文章が難しく感じられるかもしれませんが、はまったら、ページをめくる手が止まらない極上の科学ミステリー。サントリー学芸賞受賞作品。

ノムさんへの  
手紙

週刊ベースボール / 編  
ベースボール・  
マガジン社 / 発行



昨年2月に元野球選手「ノムさん」こと野村克也さんがこの世を去りました。野村さんは「生涯一捕手」「ID野球」などで知られ、選手としても、監督としても活躍されました。

また、テレビ番組に出演されることも多く、野球に詳しくなくても野村さんを見たことがある人は多いのではないのでしょうか。

そんな野村さんと野球を通じて接した9人が「教え子」として、それぞれの思い出を語り、最後に「手紙」として感謝の意をそえています。元ヤクルト宮本さん、元阪神江本さんなど、一癖、二癖ありそうな選手たちを、野村さんがあの手この手で中心選手に育てていく過程が語られ、とても楽しく読むことができます。野球技術ではなく、野村さんが発した一言でその後の野球人生が開けた話などもあり、感動する場面もあります。

毎月第3日曜日は「へきなん子ども読書の日」